

メモリーカードの取扱いについて

メモリーカードに付属している取扱説明書をよくお読みになってからご使用下さい。

1. 電池の取付

電池をカードの電池ホルダへ極性に注意しセットしてください。

2. ライトプロテクト

ライトプロテクトスイッチが書き込み可能側になっていることを確認して下さい。
学習データの書き込みが可能となります。

3. カードの挿入

ワイヤリングチェッカーの電源をOFFにして下さい。
ICカードスロットにメモリーカードのINSERT(端子側)に注意して挿入して下さい。

4. メモリーカードのフォーマット

【リセット】スイッチを押しながら【セレクト】スイッチを押してセレクト番号"100", "200"... "800"の何れかにしてください。
【学習】スイッチを押しながら【スタート】スイッチを押して下さい。
オープンランプが点灯し右表示部にセレクト番号が表示され、終了するとブザーが2回鳴り待機状態になります。
すでに、学習済みのデータが有れば登録されます。

5. メモリーカードへの学習データ登録

待機状態から【リセット】スイッチを押しながら【セレクト】スイッチを押してみして下さい。セレクト番号が"1"から最大数を越えると"101", "102", "103"...と表示されます。
セレクト番号"1"は"101", "2"は"102"でメモリーカードに書き込まれます。

[例] CHK - 256mk の場合

1 2 3 101 102 103 200 1...

セレクト番号"1"に良品サンプルを学習させて下さい。

(取扱説明書5-4参照)

セレクト番号"101"を選び【学習】スイッチを押しながら【スタート】スイッチを押して下さい。"1"が"101"に書き込まれました。(取扱説明書5-6-1参照)

セレクト番号"2", "3"にも学習データが有る場合は、"100"を選び書き込んで下さい。"1", "2", "3"全てが同時に書き込まれます。

セレクト番号"200"~"800"も同様です。

注意!

書き込みを行うと、先に書き込まれたデータが失われ新しいデータが書き込まれますので注意して下さい。

全てのデータの書き込みが終了した時点でライトプロテクトスイッチを書き込み禁止側(WRITE PROTECT)にして下さい。

誤ってデータを失う事を防ぐためです。

6. メモリーカードからのデータの読み込み

(取扱説明書5-6-2参照)

待機状態から必要なデータのセレクト番号を選び(101, 102, 103, 201, 202, 203等)【スタート】スイッチを押して下さい。

"101"は"1"に"102"は"2"に読み込まれます。

"100"を選択すると"1", "2", "3"の全てが読み込まれます。

7. メモリーカードの電池交換

取扱説明書27頁"メモリーカード・バッテリーチェック"を参照して下さい。カード付属の取扱説明書に従い交換して下さい。